

MISORA

(Minami Soma Robotics industry Association)

Made in Minamisoma

人の目が届かないところ。人の手も届かないところ。

わたしたちがMISORAを送り出すのは、そんな場所です。

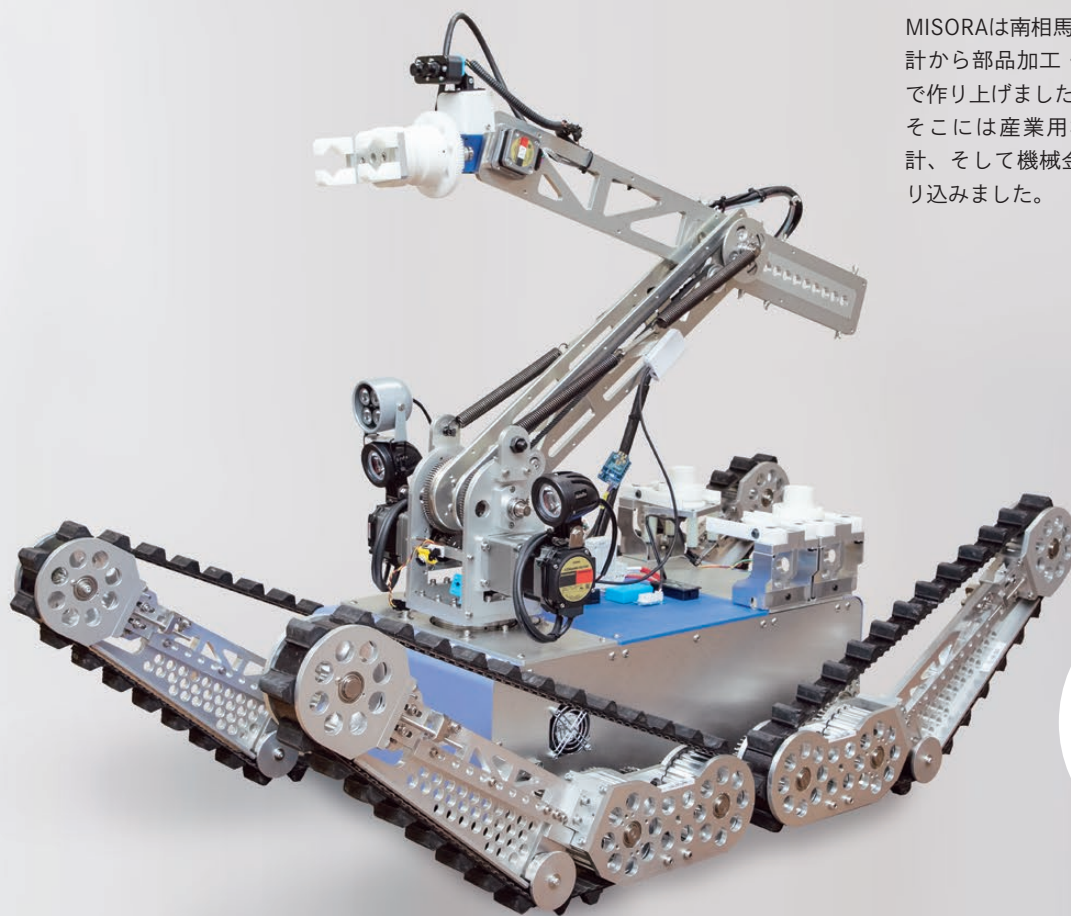
「インフラ点検クローラ型ロボット」MISORAが、ここにいる。

WELL-CRAFTED

精巧に作成された

MISORAは南相馬ロボット産業協議会が開発設計から部品加工・組立・調整まですべて自前で作り上げました。

そこには産業用機械設計とソフトウェア設計、そして機械金属加工のノウハウを沢山盛り込みました。



コントローラ

INTUITIVENESS

直感的な操作性

いざというとき、「操作ができない」では困るから姿勢状態再現モデルがMISORAの状態を教えてください。作業位置は、補助ポインタを目印に。アームや4脚クローラは、長時間の訓練いらずで操作ができるよう設計しました。ヘッドマウントディスプレイをつければ、MISORAの2つのカメラがあなたの目になり操作性を補助します。

VERSATILITY

場面を選ばない汎用性

想定外の作業環境で、慌てることのないようにMISORAのクローラは、その場で金属ベルトやゴムベルトなどに交換ができます。また、現場の対象物に合わせてツールハンドも着脱が可能。バルブ開閉、接触式温度センサー、放射線（ベータ線）測定など、さまざまな用途に対応します。高いところの作業対象にも届きます。クローラが起立する仕組みで、約1800mmまでの作業性を確保しました。

ものづくりの職人技と、 ロボティクスの夢。 福島・南相馬から。

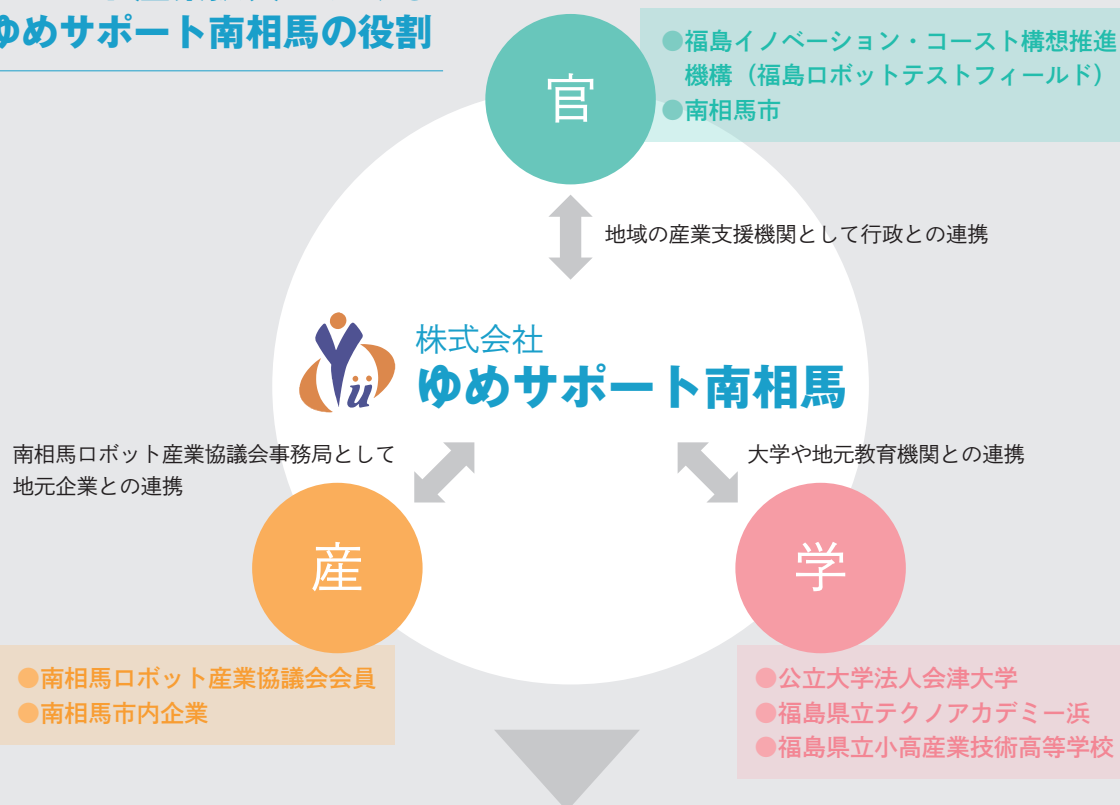


福島県 南相馬市は、かつてから機械金属加工技術が発達し、産業の基盤となっていた土地。

その南相馬で、製造業の技術を結集しロボットを製造しようというチャレンジが、2016年から始まっています。

2020年のロボティクスの競技会World Robot Summitへの出場を目指すなど、“Made in Minamisoma”は確かな品質を磨き続けています。

南相馬市の ロボット産業振興における ゆめサポート南相馬の役割



地域の産業支援機関であるゆめサポート南相馬は、**産官学連携の橋渡しの役割**を担い、
ロボットテストフィールド等の機会を最大限活用し、**地元企業の新産業創出を支援**します。

そして、教育機関を巻き込みながら地元の企業が活性化することで、
地元の子供が地元で働くという選択肢を広げ、次の世代につなげていくことを目指しています。



株式会社ゆめサポート南相馬

<http://minami-soma-ric.jp/>

〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町1-111 TEL 0244-25-3310 FAX 0244-25-3316